

中小企業景況調査報告書

令和5年4月～9月期

本調査は、瀬戸内町・宇検村の産業状況等地域の経済動向について、半期毎に実施しているものです。

1. 調査対象期間 令和 5 年 4 月 ～ 9 月
2. 調査方法 商工会職員による訪問及び面接調査
3. 調査対象地域 宇検村・瀬戸内町
4. 回答企業 30 企業
5. 調査項目 今期（R5.4月～9月）と前期（R4.10～R5.3月）・前年同期（R4.4月～9月）を比較した際の業況・売上高・客単価・仕入単価・資金繰りを調査。また、来期の見通しについても同項目にて調査を実施。以下、回答数の最も多い回答を掲載。

【総括】

令和5年4月～9月において、前年同期、前期と比較し、全体的に悪化傾向がみられる。新型コロナウイルスの5類移行となったが、依然として厳しい状況が継続しているものと考えられる。また、燃料費等の高騰が続いており、仕入単価の上昇が全体的にみられ来期の見通しでは売り上げ減少が見込まれるとの回答が多くなった。

産業別業況

	今期業況	前年(R4.4～R4.9)と比較	前期(R4.10～R5.3)と比較
建設業	ふつう	不変	不変
製造業	ふつう	不変	不変
卸小売業	悪い	悪化	悪化
飲食宿泊業	ふつう	不変	不変
その他サービス業	ふつう	不変	不変

<回答分析>

建設業、製造業、飲食宿泊業では特に大きな変化はないとの回答が多かった。
卸小売業、その他サービス業では業況の悪化を感じられる事業所が目立ち、特に卸小売業では全体的に悪化している回答が多かった。

①前年同期(R4.4～R4.9)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	増加	不変	上昇	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	増加	増加・不変	上昇	不変
卸小売業	増加・減少	増加	上昇	同数
飲食宿泊業	増加	増加	上昇	不変
その他サービス業	増加	増加・不変	上昇	不変

<回答分析>

売上高では、増加と回答した事業所が53%で最も多かった。客単価では不変が47%と多くなったが、増加も同程度の回答数であった。仕入単価は全業種で上昇との回答が最も多く（87%）、資金繰りは不変の回答が多くなった。卸小売業では業況に差が大きく生じているが、仕入単価については他業種と同様に上昇傾向がみられる。

②前期(R4.10～R5.3)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	増加	不変	上昇	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	減少	不変	上昇	不変
卸小売業	減少	不変	上昇	同数
飲食宿泊業	増加	増加・不変	上昇	不変
その他サービス業	増加	不変	上昇	不変

<回答分析>

売上高は全体では増加が40%と多くなったが、業種によっては減少が多数を占める業種もあり業況が分かれた。仕入単価は燃料をはじめ様々な製品の価格高騰から全業種で上昇が最も多くなった（87%）。物価高騰による影響は特に卸小売業にでており、売上高減少と仕入単価の上昇による資金繰りの悪化もみられた。

③来期(R5.10～R6.3)の見通し(前年同期(R4.10.～R5.3)と比較)

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	上昇	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	不変	不変	上昇	不変
卸小売業	増加・減少	増加	上昇	不変
飲食宿泊業	不変	不変	上昇	不変
その他サービス業	不変	不変	上昇	不変

<回答分析>

多くの業種で来期については、前年同期と同様になると見通されている。卸小売業については売上高の増加・減少が同数回答であり、顧客単価の増加や仕入単価の上昇は共通していたものの売上高と資金繰りに関しては業況判断が分かれた。

発行：瀬戸内町商工会
宇検村商工会